

ふじさん

fujijoho group monthly magazine

~ 2025年指針 ~

八富士情報

開 点

[今月のひとこと]

チャッピー

- ・フルーツランキング
- ・勤労感謝の日



楽山公園の紅葉

写真提供：都留市 産業課



「第42回『現代用語の基礎知識』選T&D保険グループ新語・流行語大賞」のノミネートが発表されました。その中に「チャッピー」がありました。2022年にリリースされたChatGPTの愛称で、この夏に一気に広まったようです。8月には旧モデルのGPT-4oの提供を終了し、新モデルのGPT-5へ切り替えましたが、共感力の高い4oに対して「4oロス」という言葉が生まれました。その後、OpenAIのサム・アルトマンCEOはXで、有料プラン向けに4oを再提供する方針を発表しています。

OpenAIはGPT-5のリリースにあたって7億人のChatGPTユーザ用に20万個超のGPUを投入したことを明らかにしています。NVIDIAのH100というGPUは1個2.5万ドルなのでGPUだけで、50億ドル(8000億円弱)の投資となります。

ソフトバンクは2024年10月に約4,000個のGPUを整備し、既設とあわせて計6,000個となり計算処理能力の合計が4.7エクサフロップス(エクサ=10¹⁸)となったと発表しています。

CPUの計算能力を表す指標としてMIPSやFLOPS(フロップス)がよく使われています。MIPSはMillion Instruction Per Secondの略で「1秒間に何百万個の命令を実行できるか」を表し、FLOPSはFloating-point Operations Per Secondの略で「1秒間に実行できる浮動小数点演算の回数」を表し、最近ではFLOPSが多く使われます。スーパーコンピューター「富岳」は最大537ペタフロップス(ペタ=10¹⁵)の性能です。AIデータセンターは大規模言語モデル(LLM)に特化しているため並列処理の効果が大きく、フロップスはGPUの数に比例します。

今年1月にトランプ大統領がホワイトハウスで記者会見を開き、OpenAI CEOのサム・アルトマン氏、Oracle CEOのラリー・エリソン氏、ソフトバンク 代表取締役の孫正義氏とStargateプロジェクトを発表しました。このプロジェクトは当初1,000億ドル、最大5,000億ドル(約78兆円)をAIインフラ構築に投資するプロジェクトです。このプロジェクトではテキサス州アビリーンにAIデータセンターを建設中です。このデータセンターには40万個のGPUを導入し、電力供給は1.2GW(ギガワット)にもなります。これは原子力発電所1基分に相当する電力になります。9月にはさらに新たなAIデータセンター5拠点を発表しています。既存の拠点に加え新たな5拠点を加えると7GW近くの計画容量となるとしています。

OpenAIとNVIDIAは10月、画期的な戦略的パートナーシップに関する基本合意書を発表しました。このパートナーシップは、OpenAIの次世代AIインフラに少なくとも10GWのNVIDIAシステムを導入する予定です。また、10月にGPU市場二位のAMDもOpenAIに6GW規模のGPUを提供する戦略的提携を締結したと発表しています。コンピュータの規模は従来プロセッサ数、計算能力(FLOPS)などよく使っていましたが、GWという電力で表すようになったことは新しい時代に変化している実感があります。単純に投資ビジネス化されつつあるとも言えますが、今後AIが共感の対象や便利な調査ツールだけでなく、大きな投資によって実務的にこれまで以上に重要な役割を担っていくよう期待しています。